

りそな銀行とTKC近畿大阪会・南近畿会との 覚書締結について

TKC近畿大阪会広報委員 蔦村照明 ■とき…令和4年3月9日(水) ■ところ…りそな銀行本店



左から、上田兵二会長、野垣浩会長、岡橋達哉副社長、中嶋正輝部長

関西地区における TKC会員との連携を強化

令和4年3月9日、りそな銀行とTKC近畿大阪会・TKC南近畿会が「中堅・中小企業の持続的成長支援に関する覚書」を締結し、締結調印式を行いました。近畿大阪会としては、関西みらい銀行に続いての覚書締結となり、大阪府内に本社を置く池田泉州銀行を含めて、2地域・1都銀との相互協力体制が構築されました。

当日の出席者は、りそな銀行側から、岡橋達哉代表取締役副社長、中嶋正輝コーポレートビジネス部長以下7名の地域担当責任者の計9名が出席。TKC側は、露口六彦全国会副会長をはじめに、南近畿会から上田兵二会長、平塚裕章広報委員長、小林

和敏事務局長、佐藤浩正センタ―長。近畿大阪会から野垣浩会長、中原雄一専務理事、蔦村照明広報委員、高松正之事務局長、西村博勝センタ―長の計10名が出席しました。

冒頭、中原専務理事による司会進行のもと、露口全国会副会長より挨拶がありました。今回の覚書締結の経緯などについて露口全国会副会長は、りそな銀行岡橋副社長の前任先である埼玉りそな銀行と、TKC関東信越会との連携という下地があったこと。また、りそなグループの関西みらい銀行との連携についても情報共有がなされていたこと。さらに、TKC全国会が推進する「TKCモニタリング情報サービス」に対する高い評価が鍵になったことなどを挙げました。

これを受けて、りそな銀行岡橋副社長より、既に前任先でTKC関東信越会との実績を通して、今回、関西地区の担当役員として赴任したことで、この大阪でもTKC会員との交流を深めたいとの発言がありました。また、りそな銀行・関西みらい銀行が有している中小企業向け融資シェアが現在大阪府下でトップの22%に及んでいることから、りそなグループにとって近畿大阪会・南近畿会との連携強化は、当然の取り組みであるとの見解も述べられました。

覚書締結を終え、りそな銀行中嶋部長による謝辞を受けて、上田南近畿会会長より、改めて「TKCモニタリング情報サービス」は、税務署と金融機関に同時に同一の申告情報を提供するシステムである利点が強調されました。最後に野垣近畿大阪会会長より、今回の覚書締結をきっかけに、双方担当者レベルでの協議会の設置から、実際の交流会の早期開催を目指したいとの要望が伝えられました。■